

平成23年3月30日

各報道機関文教担当記者 殿

「北陸銀行若手研究者助成金」制度 第3回採択者9名が決定！！

金沢大学と北陸銀行は、平成20年6月に締結した「包括的連携協力協定に関する覚書」の連携事業の一環として、**若手研究者の育成を通じて我が国の基礎的・基盤的な学術研究の発展に寄与**することを目的に、平成21年1月に「北陸銀行若手研究者助成金」制度を創設、本学の将来有望な**満39歳以下の若手研究者に対する研究支援**を行っております。

昨年に引き続き第3回目の実施となり、本助成金の採択者及び研究課題が別紙のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

【参考】 ・応募状況

総応募件数	54件
（内訳）人文社会系	2件
理工系	16件
生物系（医薬保健系など）	36件

・採択状況

採択件数	9件
（内訳）人文社会系	1件
理工系	3件
生物系（医薬保健系など）	5件

今回は9名の若手研究者に総額500万円が助成されます。

これまでの助成者は、今回を含め21名、助成額は1,500万円となりました。

<お問い合わせ先>

研究国際部学術国際課 山代
Tel : 076-264-5034

<担当>

広報戦略室 松本
Tel : 076-264-5024

第3回北陸銀行若手研究者助成金 採択一覧

採 択 者	研 究 課 題 名	助 成 額
人間社会環境研究科 客員研究員 井田 克征	マハーラーシュトラ州ワルカリー派の聖人伝におけるイスラムの表象について	350,000 円
理工研究域数物科学系 助 教 青木 真由美	ニュートリノ質量起源と暗黒物質をつなぐ素粒子模型の研究	500,000 円
理工研究域電子情報学系 助 教 尾崎 光紀	科学衛星搭載用サーチコイルの複共振化結合方式の基礎検討	650,000 円
環日本海域環境研究センター 助 教 仁宮 一章	低細胞毒性イオン液体と超音波による新規前処理法を用いたリグノセルロースからの効率的なバイオ燃料の生産	550,000 円
がん研究所 助 教 酒井 克也	3次元組織形成を支える組織幹細胞の分化動態と染色体数異常形成の研究	650,000 円
医学系研究科 特任助教 御簾 博文	肝臓由来高血糖誘導ホルモンセレノプロテイン P の産生および作用メカニズムの解明	650,000 円
医薬保健研究域薬学系 助 教 谷口 剛史	酸化酵素モデルを応用した新規な酸化還元縮合反応の開発とその反応機構解析	550,000 円
医薬保健研究域医学系 助 教 松下 貴史	自己免疫疾患における Regulatory B 細胞の解析	550,000 円
がん研究所 助 教 田所 優子	造血幹細胞の運命決定を支配する微小環境（ニッチ）制御メカニズムの解明	550,000 円
計		5,000,000 円

第3回北陸銀行若手研究者助成金の募集について

1. 趣旨

北陸銀行と金沢大学は、「国立大学法人金沢大学と株式会社北陸銀行との包括的連携協力協定に関する覚書」（平成20年6月9日）に基づき、若手研究者の育成を通じて、我が国の基礎的・基盤的な学術研究の発展に貢献することを目的として、以下のとおり研究助成を行う。

2. 助成対象

(1) 応募資格

以下の（ア）～（ウ）を満たす者。

（ア）平成23年3月31日現在、満39歳以下である者。

（イ）金沢大学に所属し、研究活動を行うことを職務に含む者。

（ウ）平成23年度に以下の科学研究費補助金の継続予定がない者。

- ・特別推進研究，新学術領域研究，基盤研究（S，A，B），若手研究（S，A）

(2) 助成対象研究

人文・社会科学から自然科学までの全分野にわたる基礎研究（開発研究や応用研究のフェーズの研究ではない、基礎段階の学術研究を対象とする。）

3. 助成の概要

(1) 助成金額，採択件数

1研究計画につき，100万円以内。予算の範囲内で，5件程度。

(2) 研究期間

平成23年4月1日～平成24年3月31日

4. 選考方法及び実施スケジュール

(1) 選考方法

（ア）金沢大学の審査委員会の審査を経て，北陸銀行における選考委員会において採択者を決定する。

（イ）審査委員会は，金沢大学研究戦略室長が指名する者で構成し，北陸銀行からのオブザーバーを加える。

(2) 実施スケジュール

平成23年1月14日	研究助成の学内公募
～2月4日	
〃 2～3月	審査・採否決定
〃 4月～	研究開始